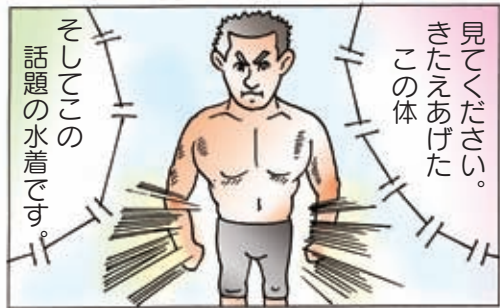
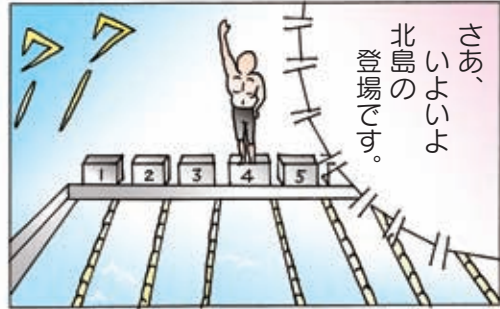


新ガッツだ おまかせくん!

小学校編

作 ロナウジーニョ太郎

No.29



くにさきの文化財

国見町

「千燈石仏」

大分県指定史跡

国見町六郷満山霊場第二十三番札所である千燈寺の近くの県道31号線沿いに、千燈石仏と呼ばれる石仏があります。幅160cm、高さ70cm、厚さ50cmの一枚石に薄肉彫した阿弥陀如来迎図です。正面に阿弥陀仏、右下に念仏行者往生を厨子と共に表現し、その前観音菩薩が蓮華を捧げ持ち、勢至菩薩は、両手を合わせて新生の人を讃歌しています。また、他の阿弥陀随侍菩薩聖衆は、紫雲の湧き立つ中に、種々の樂器を奏で、満面微笑し、にぎにぎしく来迎する様が彫刻されています。鎌倉時代末から南北朝にかけての作と見られています。



▲最後にソリスト全員でスロバキア民謡を披露しました

本物のオペラに感動 国東オペラ2008

7月5日(土)午後2時から、アストくにさきアストホールで、スロバキア国立オペラ椿姫が上演されました。青少年に本物のオペラを楽しんでもらおうと今回で4回目の開催となりました。

第1部は世界で最も愛されているオペラの一つ「椿姫」が、第2部では、同オペラの日本での活動10周年を記念する特別プログラム「日本の歌」が上演され、「見上げてごらん夜の星を」「さくらさくら」など13曲を5人のソリストが日本語で披露。約350人の来場者は、ソリストの素晴らしい歌声に聴き入っていました。